

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	4 教育研究組織 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。	
要素	教育研究組織の編制原理	
	理念・目的との適合性	
	学術の進展や社会の要請との適合性	
	(KG1) 研究活動の状況	
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。	
要素		

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 高等教育推進センターを設置し、高等教育を取り巻く環境の変化に対応するための全学的施策を練るとともに、FDに関する全学的方針の策定と推進を行う。	→教育のための情報インフラ整備と、LMSのユーザ数および科目数の増加。教育に関する効果的な提言の数。外部への情報発信の頻度。	B	B	B	A	
2. 共通教育センターを設置し、全学共通教育の質を担保する。	→共通教育プログラムの提供科目数、履修者数、単位取得率。ただしこれらはアウトプット評価指標にしかない。アウトカム評価は、これらの科目単位を取得した学生が社会において活躍し高い評価を受けることによってなされる。	B	B	B	B	

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2013年度の組織改編に合わせて高等教育推進センターの規程を改正し、同センターの位置づけと役割を明確化した。LMSの2013年4月の利用状況は、学生が89.0%、専任教員が60.9%、授業科目は35.7%（前年度は学生が85.9%、専任教員が59.4%、授業科目は34.6%）であり、着実に利用の拡大が進んでいる。
目標2	共通教育センターでは、全学に対して情報科学科目、スポーツ科学・健康科学科目、学際・連携科目をそれぞれのべ91科目、60科目、76科目開講しており、履修者数はそれぞれ約4,500名、2,500名、8,500名におよぶ。全学共通プログラムを充実させるという目的は果たしているが、教育の質をどのように保証して行くかが今後の課題である。
備考	